

# 第 39 期 計 算 書 類

2024 年度

自 2024 年 4 月 1 日  
至 2025 年 3 月 31 日

明治安田アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区大手町二丁目 3 番 2 号

貸借対照表  
(2025年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	12,026,392	流动負債	3,797,972
現金・預金	9,552,621	預り金	2,114,281
前払費用	234,646	未払手数料	719,561
未収委託者報酬	1,826,296	未払金	403,984
未収運用受託報酬	405,189	未払費用	46,646
未収投資助言報酬	2,915	未払法人税等	196,044
その他の	4,723	未払消費税等	116,556
固定資産	1,668,843	賞与引当金	196,498
有形固定資産	675,809	前受収益	4,400
建物	507,278	固定負債	257,775
器具備品	163,332	資産除去債務	229,506
建設仮勘定	5,198	繰延税金負債	28,269
無形固定資産	184,197		
ソフトウェア	184,197		
投資その他の資産	808,836	負債合計	4,055,748
投資有価証券	1,913	(純資産の部)	
長期差入保証金	300,000	株主資本	9,639,547
長期前払費用	1,624	資本金	1,000,000
前払年金費用	505,299	資本剰余金	3,514,783
		資本準備金	660,443
		その他資本剰余金	2,854,339
		利益剰余金	5,124,763
		利益準備金	83,040
		その他利益剰余金	5,041,723
		別途積立金	3,092,001
		繰越利益剰余金	1,949,722
		評価・換算差額等	△59
		その他有価証券評価差額金	△59
		純資産合計	9,639,487
資産合計	13,695,236	負債・純資産合計	13,695,236

損 益 計 算 書  
(自 2024 年 4 月 1 日至 2025 年 3 月 31 日)

(単位 : 千円)

科 目	金 額
當 業 収 益	
委 託 者 報 酬	8,777,428
受 入 手 数 料	45,394
運 用 受 託 報 酉	2,378,824
投 資 助 言 報 酬	21,832
そ の 他 収 益	12,000
當 業 費 用 及 び 一 般 管 理 費	11,235,478
支 払 手 数 料	2,660,380
そ の 他 営 業 費 用	3,201,193
一 般 管 理 費	4,152,535
當 業 利 益	10,014,108
	1,221,369
當 業 外 収 益	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,953
雜 収 入	4,082
當 業 外 費 用	10,036
雜 損 失	973
經 常 利 益	973
特 別 損 失	
減 損 損 失	14,968
稅 引 前 当 期 純 利 益	14,968
法 人 稅 、 住 民 稅 及 び 事 業 稅	1,215,464
法 人 稅 等 調 整 額	329,874
当 期 純 利 益	34,874
	850,715

株主資本等変動計算書

( 自 2024 年 4 月 1 日 )  
 ( 至 2025 年 3 月 31 日 )

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	1,000,000	660,443	2,854,339	3,514,783

	株主資本				株主資本 合計	
	利益準備金	利益剰余金				
		別途積立金	その他利益剰余金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	83,040	3,092,001	2,012,023	5,187,064	9,701,848	
当期変動額						
剰余金の配当			△913,016	△913,016	△913,016	
当期純利益			850,715	850,715	850,715	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	-	-	△62,300	△62,300	△62,300	
当期末残高	83,040	3,092,001	1,949,722	5,124,763	9,639,547	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△23	△23	9,701,824
当期変動額			
剰余金の配当			△913,016
当期純利益			850,715
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△36	△36	△36
当期変動額合計	△36	△36	△62,337
当期末残高	△59	△59	9,639,487

・個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・・決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・・定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 6年～18年

器具備品 3年～20年

②無形固定資産・・・・定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金・・・・従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

②退職給付引当金・・・・従業員に対する退職金の支払に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

投資信託委託業務及び投資顧問業務については、日々の純資産総額に対してあらかじめ定めた料率を乗じた金額を収益として認識しています。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 616,681 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 270,827 千円

短期金銭債務 235,771 千円

### 3. 損益計算書に関する注記

#### (1) 関係会社との取引高

営業収益	525,101 千円	営業取引以外の収益	2,408 千円
営業費用	734,709 千円		

#### (2) ソフトウェアの減損処理に係る費用

当社はすべての資産を一体としてグルーピングをしておりますが、2025年1月14日の経営会議における一部システムの解約の決議に伴い、当該システム利用に付随する資産については、別途グルーピングを実施しております。

当該資産グループは当該システムの解約が決定したことに伴い、除去が決定していることから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しております。当該資産グループの回収可能価額は他の転用や売却が困難であることから0円としております。

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式	18,887 株	—	—	18,887 株

#### (2) 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

#### (3) 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

#### (4) 配当に関する事項

##### ①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	913,016,467円	48,341円00銭	2024年3月31日	2024年6月27日

②基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2025年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	850,708,254円	45,042円00銭	2025年3月31日	2025年6月27日

### 5. 金融商品に関する注記

#### (1) 金融商品の状況に関する事項

##### ①金融商品に対する取り組み方針

当社は、資金運用について財務内容の健全性を損なうことのないよう、主に安全性の高い金融資産

で運用しております。

## ②金融商品の内容及びそのリスク並びに金融商品にかかるリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬、未収運用受託報酬は、主に当社が運用指図を行う信託財産より支弁され、当社は当該信託財産の内容を把握しており、当該営業債権の回収にかかるリスクは僅少であります。また、営業債権である未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されており、投資助言先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、四半期ごとに回収可能性を把握する体制としております。未収入金は、取引先の信用リスクに晒されており、取引先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、四半期ごとに回収可能性を把握する体制としております。

投資有価証券は全て事業推進目的で保有している証券投資信託であり、基準価額の変動リスクにさらされております。価格変動リスクについては、定期的に時価の把握を行い管理をしております。

差入保証金は、賃貸借契約先に対する敷金であり、差入先の信用リスクに晒されております。差入先の信用リスクについては、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、定期的に管理をしております。

営業債務である未払手数料、並びに未払金は、1年以内の支払期日です。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2025年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金は注記を省略しており、預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬、預り金、未払手数料及び未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、注記を省略しております。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 投資有価証券 その他有価証券	1,913	1,913	-
(2) 長期差入保証金	300,000	253,900	△46,099
資産計	301,913	255,813	△46,099

### (3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

① 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

(千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券				
その他の有価証券	-	1,913	-	1,913
資産計	-	1,913	-	1,913

② 時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

(千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金	-	-	253,900	253,900
資産計	-	-	253,900	253,900

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券 解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限のない投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

長期差入保証金 長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しております。レベル3に分類しております。

## 6. 税効果会計に関する注記

### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

#### 繰延税金資産

賞与引当金繰入限度超過額	60,357	千円
未払事業税	12,282	千円
資産除去債務	72,340	千円
ソフトウェア	72,897	千円
その他	36,191	千円
繰延税金資産小計	254,068	千円
評価性引当額	△72,340	千円
繰延税金資産合計	181,728	千円

#### 繰延税金負債

前払年金費用	△159,270	千円
資産除去費用	△50,727	千円
繰延税金負債合計	△209,997	千円
繰延税金負債の純額	△28,269	千円

### (2) 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「我が国の防衛力の抜本的な強化等のために必要な財源の確保に関する特別措置法」(令和5年法律第69号)が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引上げ等が行われることとなりました。これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、前事業年度の30.62%から、2026年4月1日以後に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については31.52%となります。この税率変更により繰延税金資産は1,579千円増加、繰延税金負債は5,862千円増加し、法人税等調整額も4,283千円増加しております。

## 7. 資産除去債務に関する注記

### (1) 当該資産除去債務の概要

本社施設の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

### (2) 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を主たる資産の取得から耐用年数満了時（15年）としており、割引率は0.214%を適用しております。

### (3) 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減は次のとおりであります。

期首残高	229,016千円
時の経過による調整額	490千円
期末残高	229,506千円

## 8. 関連当事者との取引に関する注記

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の被所有割合
親会社	明治安田生命保険相互会社	千代田区丸の内2-1-1	-	生命保険業	(被所有)直接100%

関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売	運用受託報酬	503,648千円	未収運用受託報酬	268,290千円
	支払手数料	648,559千円	未払手数料	230,821千円

取引条件ないし取引条件の決定方針等

運用受託報酬並びに支払手数料については、契約に基づき決定しております。

(注)上記取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

## 9. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	510,376円85銭
(2) 1株当たり当期純利益金額	45,042円38銭

## 10. 収益認識に関する注記

### (1) 収益の分解情報

当社の営業収益の内訳は、委託者報酬8,777,428千円、受入手数料45,394千円、運用受託報酬2,378,824千円、投資助言報酬21,832千円、その他収益12,000千円であります。

### (2) 収益を理解するための基礎となる情報

「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「(4) 重要な収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

第39期 附属明細書 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)

1. 有形固定資産および無形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
有形 固定資産	建物	557,378	-	-	50,100	507,278	218,091	725,369
	器具備品	241,461	2,328	209	80,248	163,332	398,589	561,921
	建設仮勘定	-	12,378	7,179	-	5,198	-	-
	計	798,839	14,707	7,389	130,348	675,809	616,681	1,287,291
無形 固定資産	ソフトウェア	241,134	33,740	14,968 (14,968)	75,709	184,197		
	ソフトウェア仮勘定	2,431	31,597	34,028	-	-		
	計	243,565	65,337	48,997 (14,968)	75,709	184,197		

ソフトウェアの「当期減少額欄」の()内は内書きで、減損損失の計上額である

2. 引当金の明細

(単位:千円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	191,394	196,498	191,394	-	196,498

3. 営業費用及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科 目	金 額	摘 要
代行手数料	2,660,380	
広告宣伝費	36,916	
公 告 費	450	
調 査 費	1,225,558	
委託調査費	1,322,418	
委託計算費	494,351	
通 信 費	15,212	
印 刷 費	86,903	
協 会 費	11,119	
諸 会 費	8,261	
営 業 雜 費	0	
役 員 報 酬	102,855	
給 料・手 当	1,587,532	
賞 与	475,077	
そ の 他 報 酉	32,758	
賞与引当金繰入	157,354	
法 定 福 利 費	354,122	
福 利 厚 生 費	35,350	
交 際 費	3,048	
寄 付 金	39,333	
旅 費 交 通 費	18,859	
租 稅 公 課	77,795	
不 動 产 賃 借 料	444,213	
事 務 委 託 費	507,633	
退職給付費用	42,092	
固定資産減価償却費	206,057	
諸 経 費	68,448	
合 計	10,014,108	